

# 野田村復興まちづくり CWS

活動対象地域 : 岩手県九戸郡野田村

活動開始年度 : 2011 年度

活動キーワード : 東日本大震災、復興、生業、CWS

2014 年度活動メンバー

学部3年生 : 3名 / 学部4年生 : 2名

修士2年生 : 1名



## 「なりわい」体験をふまえて、 野田村復興をプランニングする

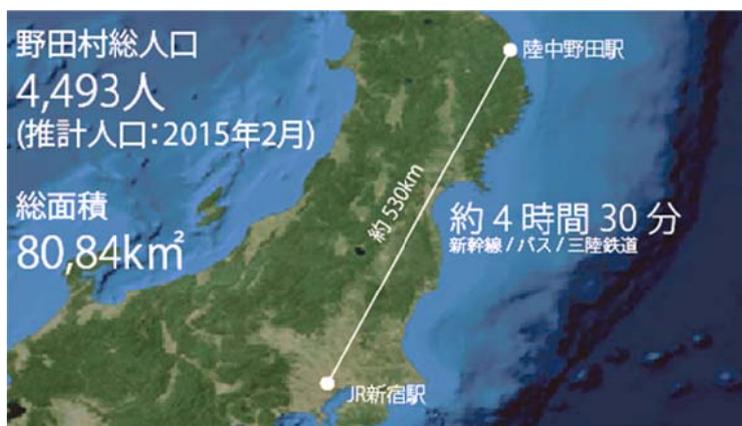
### 【活動経緯】

2011 年度、2012 年度の復興まちづくり提案を志向したシャレットワークショップを経て、2013 年度は野田村の生業体験プログラムを中心に提案した。

2014 年度当初期は「生活となりわいの拠点としての中心市街地」「民泊プログラムとリノベーション」「漁業と野田港周辺のプランニング」「高台団地での新しいコミュニティづくり」の4点をCWS2014で取り上げるべき検討テーマと考えた。6月から8月にかけて3回の「事前ワークショップ」で絞り込みを行い、体験合宿に備えた。

### 【活動対象地概要】

「北限の海女」で有名な久慈市、「黒崎海岸」が美しい普代村、また日本三大鍾乳洞に数えられる「龍泉洞」で有名な岩泉町と隣り合う。特産品はホタテ、ワカメ、ホウレンソウ、食用菊、山ブドウ。ドラマ「あまちゃん」で話題になった、三陸鉄道が通る野田村。駅名は「陸中野田」。震災で被害を受けて一部運休をしていた三陸鉄道は、2014年4月1日全線で運転再開をし、さらに盛り上がりを見せる。



### 【活動体制】

八戸高専の河村研究室、首都大学東京の玉川研究室と市古研究室、工学院大学の野澤研究室、計4つの研究室が主体となって活動している。この4つの研究室では都市や建築について勉強しており、その知識を活かして復興まちづくりの提案を行っている。他にも、野田村で活動するチーム北リアスや弘前大学、大阪大学、京都大学の学生や先生方にも協力をいただいている。建築や都市だけでなく、人文や社会学の専門知識が入ることでよりたくさんの提案が生み出される。



※この活動の一部は、JSPS 科研費 24243056、24618010 の助成を受けて行ったものです。

# 2014 年度の活動内容

## 【中心市街地班：大平、伊豆、笠原、杉浦】

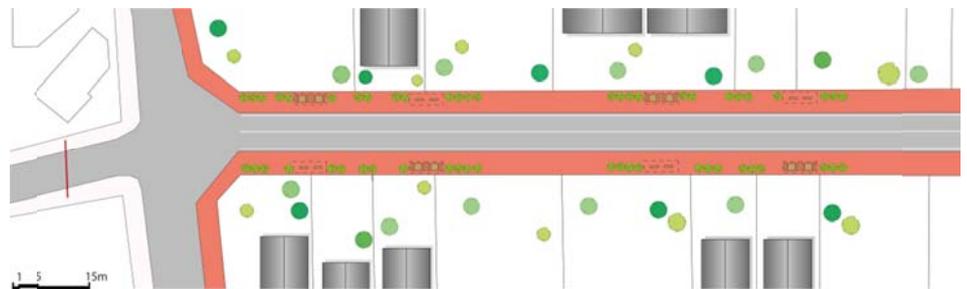
### 体験合宿記録

- 1日目：下組山車制作お手伝い
- 2日目：下組山車制作お手伝い・かまどのつきやに民泊
- 3日目：餅つき体験・小野寺さんにヒアリング・体験まとめ作成
- 4日目：中心市街地調査・現地発表会

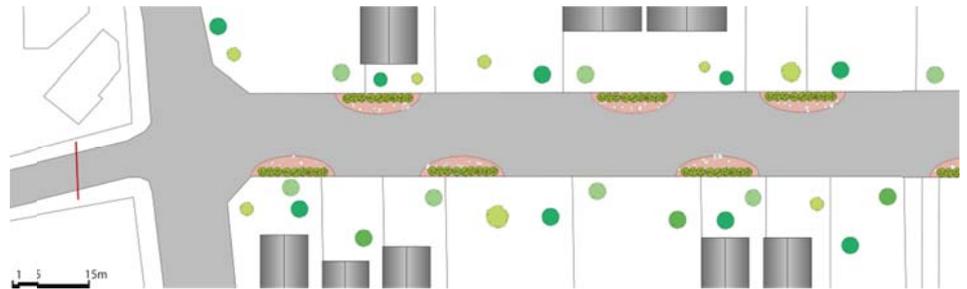


提案をする際に着目したのは、村の顔である本町通りの幅員である。幅員は15mに決められている。隣の家とは近くても、お向かいの家とはかなり距離がある。しかし、15m という広さは変えることができないので、15m の使い方について提案をした。

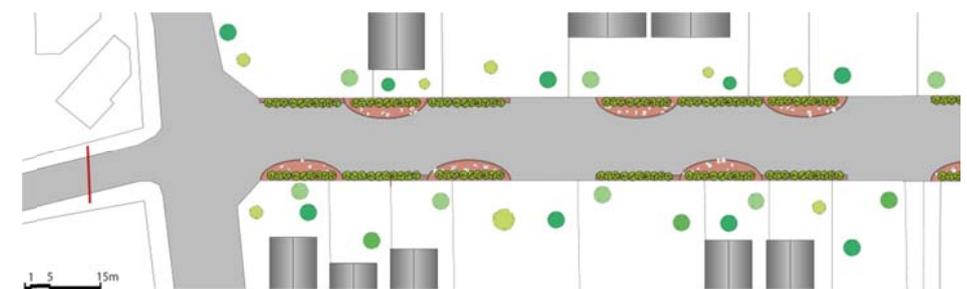
- ①アンツーカーという素材を用いた歩道をつくり、ベンチやつくえを置く。屋根がついているので雨宿りもできる。



- ②ハマナスが植わる半楕円形状の島が道路のところどころにある。祭りのときはそこに腰かけたりできる。



- ③ハマナスの数が②の倍植わっている案。ハマナス通りとして復興のシンボルとなるだろう。



現地発表会では模型を用いて発表した。野田の方からは「本町通りにベンチを置くことは、わたしたちも考えていた。」などとおっしゃっており、実際に模型を用いることで議論が白熱した。復興交付金でどこまでできるのかという問題点が出たが、「実現するかしないかは別として、村の未来を考えるのには良いこと！」という意見をいただいた。



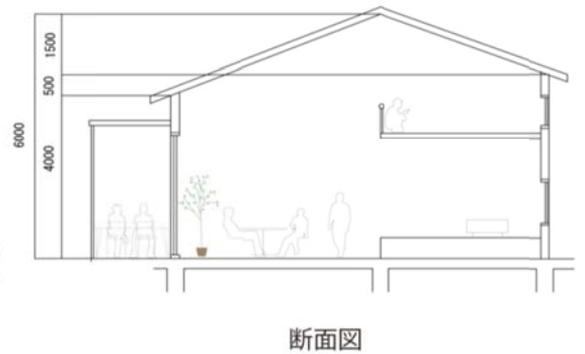
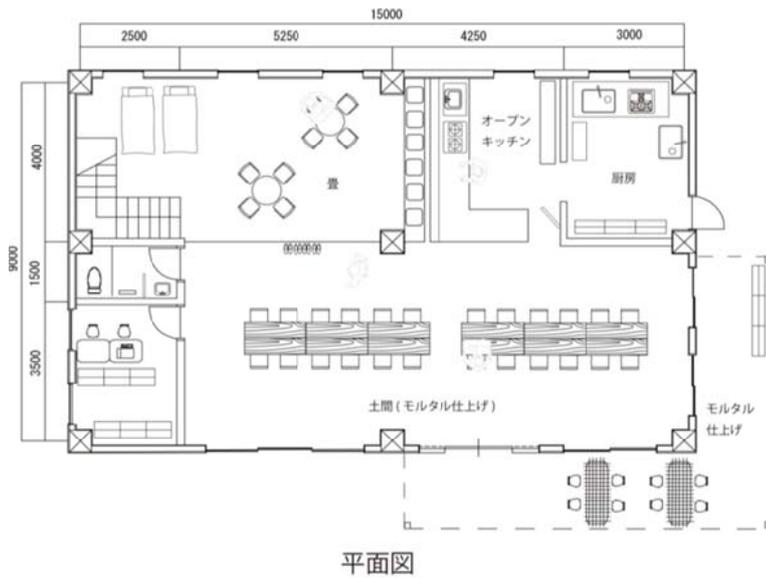
## 【漁業班：新井、大貫】

### 体験合宿記録

- 1日目：漁港の敷地調査・敷地の選定
- 2日目：漁業体験・インタビュー・番屋のスタディ
- 3日目：大謀のエスキース・番屋デザイン確定・模型制作
- 4日目：漁師さんへのプレゼン・現地発表会



2013年度の続きとして、番屋のデザインを提案した。漁師さんたちは番屋に対して「こうなったらいいな」という気持ちは持っていたが、改修しようなどという動きはなかった。ヒアリングから“漁師さんのための番屋”をコンセプトとして、作業にとりかかった。「何の為にやっているの?」と最初は言っていた漁師さんも、提案を進めるにつれて夢や希望を持ち始め、一緒に作り上げる良いきっかけなのではないかとの意見をいただいた。



それと同時に、民泊プログラムをより充実させる提案と、漁師を巻き込んだ6次産業施設の提案をした。例えば、村のプロフェッショナルが1日限りの先生に!ということで、村の人たちが練りに練った体験授業を2日限りで開港する。学んだ知識や野田での経験を友達に自慢したくなるようなプログラムである。

	1日目	2日目
1限 2:30~8:00	船の上の教室 (ペスカトゥリズモ)	起床・朝食
2限 8:00~9:00	漁師メシの献立	農業体験 昼食・休憩
昼休み 9:00~13:00	昼寝・昼食	
3限 13:00~13:50		
4限 14:00~14:50	漁師にインタビュー 【座学】	オリジナル秘伝のタレ 作り方



※ペスカトゥリズモ…日本語で「漁業観光」。運営の維持が難しくなった漁村の再生を図るために、イタリア国内で政府と連携して打ち出された新しい観光のあり方